

# リニューアルの ご挨拶

いつも『VIEW21』高校版をお読みいただき、誠にありがとうございます。

表紙をご覧になってお気づきになったかもしれませんが、本誌は今号より誌面を大きくリニューアルいたしました。例年同様、新たな連載のコーナーがあるだけでなく、全ページをカラー化。それに伴い、前年度より継続するコーナーも含め、誌面のデザインを一新しております。

本誌が大きく変化する時——それはいつも、高校教育が大きな転換点を迎える時でした。

本誌の前身である『進研ニュース』が産声を上げたのは、今から43年前の1974年8月15日。当時は、共通一次試験案が衆目を集めていた大学入試制度の激動期でした。進学指導にあたる高校教師の支援を目的に、進研模試のデータを盛り込みながら大学入試情報を中心とした教育に関する情報を掲載する、4ページのタブロイド版でのスタートでした。

創刊から10年の83年には、大学入試情報をより豊富な内容で、かつ迅速・的確にお届けするために、B5判の情報誌にリニューアルしました。90年代に入ると、社会環境や生徒の気質の変化などにより、学校現場が「進学指導」から「進路指導」にシフト。それに伴い、『進研ニュース』も「大学入試情報中心」から「進路指導情報中心」へと編集方針を転換いたしました。

そして、1995年。社会を揺るがす出来事が数多く起こり、先の見えない不安に社会全体が包まれたその年の4月号より、『進研ニュース』から『進研ニュース VIEW21』へと名称を変更。文字通り、「21世紀を見つめ、ますます変化と混迷の予想される産業界及び高校・大学の現状と今後をたくましく生きていくためには、どのような進路指導が望まれるのか」を現場の先生とともに考えていく情報誌へと大きく様変わりいたしました。

それから約20年。社会は激しく変化し、ますます先の見通せない時代になってきています。教育もまた、大学入試を始めとして大きく変化しようとしています。そのような時代の転換点を迎えるにあたり、現場の先生方が目の前の生徒一人ひとりをどのように導いていけばよいのか、そして、これからの高校教育はどうあるべきなのか、答えが1つではないその問いを先生方とともに考え、解決のヒントとなる情報を提供していく——その決意を新たにすべく、今号より本誌はまた大きな変化を遂げます。

毎号熱心にお読みいただいている先生方には、これまで以上に有用な情報と厚く熱いメッセージをお届けするとともに、ご校務・ご指導でお忙しい先生方にとっても読みやすい誌面となるよう、デザインの面でも様々な工夫を施しています。

先生方とともに高校生の今と未来をつなぐ——そのコンセプトを実現する情報誌を目指し、編集部一同、これからも精進して参ります。

今後とも、『VIEW21』高校版を何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

『VIEW21』高校版編集部一同

1974年創刊



1983年



創刊10年を機にタブロイドから冊子へ。

この年の4月号より、『進研ニュース VIEW21』と誌名も新たに大幅リニューアル。

1995年



1998年

「教師と生徒のコミュニケーション」をコンセプトにした表紙に変更。



2004年



B5判からA4判へとリニューアル。図版などを大きくし、資料性を高めた。

2017年



全ページをカラー化。高校教育が大きな転換点を迎える中、再び大幅リニューアルを図る。